

会議の名称	茨木市市民会館跡地活用検討委員会 第4回
開催日時	平成30年2月2日(金) (午前・ 午後) 7時00分 開会 (午前・ 午後) 8時00分 閉会
開催場所	市役所南館3階 防災会議室
出席者	[委員] 福本雄也、渡辺志穂里、中村裕二、黒田隆男、井元真澄、 福田公教、木村光佑、川本由貴、建山和由、久隆浩 【10人】
欠席者	阿部格朗、木村正文 【2人】
事務局職員	秋元企画財政部長、田川市民文化部長、小田市民文化部理事、 北達健康福祉部理事、佐藤こども育成部長、 小西企画財政部副理事兼政策企画課長、 田中文化振興課振興係長 向田政策企画課参事兼市民会館跡地活用グループ長、 森本政策企画課課長代理兼政策推進係長、 泰田政策企画課行政経営係長、川嶋政策企画課職員 【11人】
開催形態	公開
議題(案件)	1 開会 2 パブリックコメントの意見とその対応について 3 答申(案)について 4 今後の日程について 5 閉会
配布資料	検討委員会次第 提出された意見等及び市の考え方 主な修正箇所(抜粋) (審議中配布資料) 答申(案)
傍聴人	7人

会 議 録

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 内 容
司 会 (小西副理事)	<p>1 開会</p> <p>本日の委員の出席状況だが、12人中10人の委員が出席しており、委員会規則第6条第2項の規定により、会議は有効に成立している。</p> <p>それでは、議事の審議に移りたいと思う。</p> <p>委員会規則第6条第1項の規定により、久委員長に議長をお願いする。</p>
久委員長	<p>ただいまから、茨木市民会館跡地活用検討委員会を開催する。</p> <p>それでは、会議次第に沿って議事を進行させていただく。</p> <p>本日は、「パブリックコメントの意見とその対応について」の審議をした後、市民会館跡地活用検討委員会としての答申案を検討したいと考えている。</p>
久委員長	<p>2 パブリックコメントの意見とその対応について</p> <p>それでは、「パブリックコメントの意見とその対応について」、審議を行う。</p> <p>平成29年12月12日から平成30年1月11日までの1か月間、基本構想案に対しパブリックコメントを実施しており、そこで示された意見に対する市の考えを、私とも調整の上、事務局においてまとめている。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いする。</p>
向田参事	<p>【「提出された意見等及び市の考え方」について説明】</p>
久委員長	<p>パブリックコメントをどのように基本構想（案）に反映していくか、というのが重要な柱の一つある。資料では、構想（案）の修正について示されているが、まだ他に修正すべき点等があれば、指摘をお願いしたい。</p> <p>また、基本計画レベルでの意見も多いが、これらについて、構想（案）において、「基本計画で十分に議論して欲しい」、あるいは、後ほどお諮りをする答申（案）の中で、「基本計画で十分に検討しいただきたい」等の申し送りなどの対応もできればと思う。</p> <p>それでは、基本構想（案）の中で修正すべき点はあるか。</p>
各委員	<p>【意見なし】</p>
久委員長	<p>我々も時間をかけて同じような議論をしており、パブコメと同じような話を調整しながら、基本構想（案）をまとめているので、意見がないよう</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
	<p>なら、資料とおりに修正し、基本構想（案）を最終的に固めるということによろしいか。</p>
各委員	<p>【異議なし】</p>
久委員長	<p>また、市の考え方や書きぶりの内容についての意見はあるか。</p>
各委員	<p>【意見なし】</p>
久委員長	<p>意見がないようなので、事務局には提示いただいた形で進めていただければと思う。</p> <p>以上で「パブリックコメントの意見とその対応について」の審議を終了する。</p> <p>続いて、答申案の審議を行う。</p>
久委員長	<p>3 答申（案）について</p> <p>諮問に対する当検討委員会での審議は一旦終了させていただき、次回、市長へ答申する内容について、検討させていただく。</p> <p>事前に、私と建山副委員長、事務局で調整しながら、答申案を作成しているのですが、まずは、各委員に答申（案）の配布を事務局にお願いする。</p>
	<p>【事務局 答申（案）を配布】</p>
久委員長	<p>それでは、答申（案）について、事務局から読み上げをお願いする。</p>
向田参事	<p>【答申（案）を読み上げ】</p>
久委員長	<p>答申案についていかがか。特に、記以降に、お願いしたいことについて付記しているが、修正や加筆すべき点などがあれば、意見をお願いしたい。</p>
黒田委員	<p>「4 跡地エリアにおけるホール」の後半部分が、今までの基本構想（案）にあまり明記されてなかったように思うが、ここは新しい内容なのか。</p>
久委員長	<p>様々なご意見、黒田委員からいただいた内容等も踏まえ、今後、整備が完了し、利用が進められる際には、このようなことに留慮してほしい、という検討委員会からの意見をここに付記したものである。</p> <p>他に意見はあるか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
各委員	【意見なし】
久委員長	意見がないようなので、この内容で、次回の検討委員会において、市長に答申するということでよいか。
各委員	【異議なし】
久委員長	<p>それでは、この答申（案）と先ほどの基本構想（案）をもって、委員会を代表し、私から市長に答申させていただく。</p> <p>まだ時間があるので、言い残したご意見や、基本計画へ再度繋いでほしい点など、ここからは少し自由にご意見をいただければと思うがいかがか。</p>
黒田委員	<p>キーコンセプトの「育てる広場」は、市民が主体的にいろいろなことを取り組まないと実現できないという話があったが、実現するためにはソフトだけでいいのか。ハードを作ってしまったが、運営が難しいといったことにはならないか。</p>
久委員長	<p>基本計画レベルの話になるが、市民が手を加えられる余地を残しておかないと、「育てる広場」は実現できないと考える。ハードを作りこんでしまい、全然動かせないというような設計にすると、市民の取り組みも動いていかないので、どこまで余地を残し、自由度を持ちながら、尚且つ機能を高めていけるか、バランスをとりながら設計を進めていければと思う。</p> <p>基本構想のとおり、PPPの手法を検討するが、最終的には、巧みな設計者とコラボできれば、十分にユニークな空間設計の中でもできると思う。このような話は、次のステップになるので、お互い知恵を出しながら考えていければと思う。</p> <p>黒田委員のご指摘で言えば、ハードについても、「仕掛け」というのをどれだけできるかというところで、市民活動を受け入れられるかどうかが決まってくるのは確かである。</p>
建山副委員長	<p>やりましょうという話ではないが、選択肢としてあっても良いと思うものに、ネーミングライツがある。ホールを作るのであれば、企業の冠をつけることもあり得るのではないか。それが茨木市に合っているかどうかということもあるが、一定、メンテナンス等の費用等を賄えるのなら1つの方向性としてあるのではないか、というのが1点である。</p> <p>2点目として、最近、さまざまな都市で、アーバンデザインセンター（U</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
久委員長	<p>DC) というものができている。元々は、東大が柏市に新しいキャンパスを作る際に、新しい駅やその周辺が開発されるのにあわせ、駅前にアーバンデザインセンターという、市民や大学の先生などが集まり、まちをどう作るのか、作ってからどう使うのかということ、自由に議論する場を設けたものであり、面白い活動をしている。</p> <p>それが日本全国あちこちに広がっていき、立命館のびわこ・くさつキャンパスがある草津市にも、去年、新しく作られ、市民や大学の先生、市の職員たちが、そこでいろいろな活動をしており、面白い取組になっている。</p> <p>ホールやエリアの使い方について、市民と行政の人たちなど、いろいろな人と自由に議論する場があっても良いのではないかと思い、情報提供としてお話をさせていただいた。</p> <p>立命館大学の市民開放施設は、いばらきフューチャープラザという名がついているが、今、世界中でフューチャーセンターというのが一つのブームとなっており、アーバンデザインセンターもフューチャーセンターの一つに位置付けられると思う。フューチャーセンターは、一定のワークショップや意見交換ができるようなスペースがあり、自由に人が集まってきて、ディスカッションを行う中で、まちの将来像を考えていく、という仕掛けで、先ほどの黒田委員の話と重なるが、そういうスペースを設けることによって、人が集い、そこから議論が生まれていくというものである。最近、そのような面白い仕掛けが動いているので、先進事例も集めながら基本計画の中でいろいろと議論していただければと思う。</p>
木村（光佑） 委員	<p>今の話には非常に感心する。そういうところから、何か新しいものが生まれてくると思うので、ぜひ進めて欲しい。</p> <p>また、がっちり固めてしまうのではなく、ある程度動かせるような余地を残すことを織り込んでもらえた方が良く思う。</p>
久委員長	<p>「育てる」というのが構想のキーワードになっているが、広場や施設を育てるだけでなく、まち全体を育てていく1つの拠点として活用できればと思う。また十分に検討をしたい。</p>
秋元部長	<p>ネーミングライツの件だが、市においても、財政基盤を強くするという事で、広告収入を得るためのガイドラインを作っている。ただ、茨木市がそれをどこまで積極的にやるかはまだ検討段階であるので、1つの検討材料としたい。</p> <p>先ほどの、多様な主体が出会い語り、それをまちづくりにつなげるとい</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
久委員長	<p>うのは、市長が考えているまちづくりの大きな方針とも合致する。中心市街地に、「グランドデザイン」という、皆で共有するものを掲げながら、集いたいというような仕掛けを考えており、来年度から本格的に動いていきたいと考えている。その一番のパイロット事業が市民会館跡地エリアであり、そこで出来たエリアもまた、集ってもらえる場になる、というようにつながっていけばと思っている。</p> <p>この委員会でもお話をさせていただいたが、もう一つお金を集める方法として、この近辺では、吹田スタジアムが130億円すべて寄付で買ったという例がある。一企業に多額のお金をいただく方法もあるが、一方で市民が少しずつお金を出し合って、積み立てていくというのも一つの方法かと思う。</p> <p>ちなみに、Jリーグには、スポンサー名を一切出さないという方針がある。ガンバも一番大きなスポンサーはパナソニックだが、「パナソニックガンバ」ではなく「ガンバ大阪」であるなど、全て地域名を出している。これは、多額のスポンサーも、少額を出している市民レベルの方々からも、同じように「育てていただいている」、という感謝の気持ちを表そうという意味も込めて、企業名、スポンサー名をクラブ名には出さないという方針がある。そのような姿勢の問題も含めて、一つの企業にお金をたくさん出してもらうのか、また、みんなでお金を出し合いながら、名前は茨木らしいものを市民が共有するという方法などもあるので、このあたりも時間をかけて議論させていただければと思う。</p>
黒田委員	<p>委員会の1回目か2回目において、中村委員から費用面で具体的なイメージができないのか、という意見があり、その際には、中身が具体化していないのではっきりしないという話だったが、1つ2つの仮定を入れるとざっくりとしたことは言えると思う。</p> <p>前回、PFIについて、委員長からマンションを買うときに月賦で払うようなものと例えをされた。例えば、それで考えると、敷地エリア案のB案は109億円だが、約100億円と仮定すると、100億円を50年間、均等で返すと、無利子なら毎年2億円かかる。利息がもし3%だったら、1億9,300万円くらいになるので、ざっくり2億円とすると、50年の元利均等だと毎年4億円くらいお金がかかる。もし建設費が150億円くらいに上がると、毎年6億円となる。運営費が元市民会館のように毎年2億円となると、足して年8億円になるので、茨木市の年間予算の1%くらいを、これに使うことになる計算になる。</p> <p>秋元部長におうかがいしたいが、茨木市の財政としては全然問題がない</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 内 容
秋元部長	<p>レベルなのか。2060年には、人口が22万人に減るだろうという予測になっているが、どうか。</p> <p>経常コストが増えていくことは、財政の硬直化を招く1つの要因であると考えている。その為にも、既存事業の見直しも含め、経常コストをどのような形で維持、推移させていくかを、常に検討しており、経常コストの増加に関しては、何らかの措置がいると考えている。</p> <p>なお、建設費を100億円と仮定するとしても、すべてを借金するわけではなく、15億円くらいは国から交付金をいただければと考えているし、基金、貯金についても40億円くらいは貯まると考えている。</p>
黒田委員	<p>100人会議における市長の話では、基金は24億円ということだったのではないか。</p>
向田参事	<p>平成34年度末の時点で約40億円となる見込みである。</p>
秋元部長	<p>40億円ほど貯金が見込めるので、貯金と交付金で約半分強は賄えるが、残り半分のうち、75%くらいは借金かと思っている。そこについては、全体の見直しをもって対応していく必要があると捉えており、まったく目途のない事業をやっているわけではない。</p>
中村委員	<p>私もこれまでコストの話をしてきた。今後、どれだけ資材などの費用が上昇するかわからない中で、人手不足もあり、人件費についてもどれだけあがるか先が見込めない。ただ、基本構想の考え方やコンセプトについて理解していないわけではなく、こういうものができれば素晴らしいと思うし、茨木が発展していくということには期待をもっている。</p> <p>しかし、100人会議のころから言っているのは、立派なものを作っても、私たちの子どもたちの世代に負担をかけてはいけないと思っている。そこは市に委ねるしかないので、判断だけはきっちりお願いしたい。</p> <p>加えて、それだけのお金をかける以上は、しっかりと、茨木市民だけでなく、多くの人が集まれる場所を作っていただき、より多くの人茨木に住んでもらえれば、市が発展していくと思う。</p> <p>反対ではなく、そこはぜひ期待するしかないので、お願いしたい。</p>
久委員長	<p>今、オリンピックの関係で建設費が高騰しているが、大阪に万博となると、身近なところで工事が始まるので、さらに建設費が上昇すると想定される。</p>

議 事 の 経 過

発言者	発言内容
各委員	他に意見はあるか。 【意見なし】
久委員長	市のほうでは、基本計画の検討においても、いろいろな機会を作りたいと言ってくさっているのので、今後は、より具体的なレベルの議論にも参加し、たくさんの意見をいただければと思う。 その他事項として、事務局から次回の日程について、説明をお願いします。
小西副理事	4 今後の日程について 次回の委員会であるが、本検討委員会で審議いただいた結果を、「茨木市市民会館跡地エリア活用基本構想答申」として、市長に答申していただきたいと考えている。 日時については、2月16日（金）の午後7時30分から、場所は、南館10階の大会議室を予定している。 事務局からの説明は以上である。
久委員長	市長も出席されるので、直接、意見に意見を聞くこともできると思う。 以上で、本日予定されていた案件については、すべて終了したが、この他に何かあるか。
各委員	【質問・意見なし】
久委員長	5 閉会 今回は答申ということで、実質の審議は本日が最後とさせていただきます。 10月10日の諮問から約5か月間、建山副委員長をはじめ、委員の皆様から多くの意見を賜り、また、熱心にご議論いただいたおかげで、ようやく答申までたどり着くことができました。心からお礼申し上げます。 以上で、第4回茨木市市民会館跡地活用検討委員会を終了する。

以上